

平成30年度羽曳野市事務事業評価シート(平成29年度実施事業)

				コード	152-01-01	
事務事業名		水道料金徴収事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		水道局 水道局総務課		連絡先	内線5020	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	水道事業会計
	施策	5	上下水道		款	事業費用
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		項	営業費用
対象(誰を・何を)	上水道利用者				目	業務費
目的(どうしたいか)		水道事業の経営安定化のための適正な水道料金の算定及び収納				
手段(事業内容)		水道メーターの検針から料金徴収までの事務委託				

事業費

単位: 千円	28年度決算	29年度決算	30年度当初予算
事業費	87,834	89,507	96,439
人件費	5,463	4,888	5,366
総事業費	93,297	94,395	101,805
うち市負担分	36,715	34,661	37,482

29年度決算主な内訳	
【事業費】	水道料金等関連業務委託料69,920千円、水道料金等管理システム電算機器賃借料6,959千円、コンビニ収納手数料3,307千円、口座振替手数料1,014千円、納入通知書等送付料4,462千円
【特定財源】	下水道使用料徴収事務費59,734千円

活動指標

指標名	調定額	単位	千円
指標の説明	水道使用料調定額		
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標(見込)
	2,017,125	1,989,909	1,965,176

参考数値	
H29給水人口	109,913人
H29給水戸数	42,882戸
H29総有収水量	11,582千m ³

成果指標

指標名	最終収納率	単位	%
指標の説明	収納額/調定額×100		
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標(見込)
	98.97	99.11	100.00

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 人口減少や節水意識の高まりから水需要が減少傾向にある中、水道事業収益の大部分は水道料金であることから、本業務は経営安定化のためにも根幹をなすものである。 本業務における収納率は極めて高い水準であると言えるが、今後も負担の公平性を欠くことのないよう、今後も民間活力で継続すべきものであると考える。

平成30年度羽曳野市事務事業評価シート(平成29年度実施事業)

				コード	152-01-02	
事務事業名		水道メーター管理事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		水道局 水道局総務課		連絡先	内線5020	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	水道事業会計
	施策	5	上下水道		款	事業費用、資本的支出
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		項	営業費用、建設改良費
	対象(誰を・何を)	水道メーター(量水器)				目
目的(どうしたいか)		適正な料金算定のために必要な水道メーター(量水器)の購入・管理				
手段(事業内容)		計量法の検定期間満了に伴うメーター(量水器)取替・新設個数の把握・購入及び入・出庫管理				

事業費

単位: 千円	28年度決算	29年度決算	30年度当初予算
事業費	18,375	16,839	30,680
人件費	2,584	3,851	3,552
総事業費	20,959	20,690	34,232
うち市負担分	20,959	20,690	34,232

29年度決算主な内訳
【事業費】 量水器取替費15,746千円 量水器購入費1,093千円
【特定財源】

活動指標

指標名	水道メーター(量水器)取替・新設個数		単位	個
指標の説明	検定期間満了に伴う取替個数+新設個数			
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標(見込)	
	6,912	6,786	7,197	

参考数値
H29設置メーター個数 42,853個

成果指標

指標名	検定期間満了に伴う取替率		単位	%
指標の説明	検定期間満了メーター取替数/検定期間満了メーター数×100			
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標(見込)	
	99.92	99.70	100.00	

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 本市では、水道メーター(量水器)の計量法検定期間満了超過防止等を目的に期間満了1年前に取替を行っているため、適正な執行・管理状況であると考えます。

平成30年度羽曳野市事務事業評価シート(平成29年度実施事業)

		コード	152-02-01
事務事業名		人事管理事務事業	事務の種類 自治事務(義務的なもの)
担当部署名		水道局 水道局総務課	連絡先 内線5020
総合基本計画	施策目標	1 快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目
	施策	5 上下水道	
	施策の方向	2 水道事業の経営基盤の強化	
対象(誰を・何を)		水道局在籍・過去在籍職員(正職員・再任用職員・非常勤職員・嘱託員含む)	
目的(どうしたいか)		適正な労務管理	
手段(事業内容)		給与・人事関連の管理、安全衛生委員会の運営	

事業費

単位：千円	28年度決算	29年度決算	30年度当初予算
事業費	124	122	201
人件費	3,986	3,703	3,779
総事業費	4,110	3,825	3,980
うち市負担分	4,110	3,703	3,980

29年度決算主な内訳
【事業費】 給与計算事務負担金122千円
【特定財源】

活動指標

指標名	給料処理件数	単位	件
指標の説明	年間給料処理件数(正職員+再任用職員+非常勤職員+嘱託員)		
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標(見込)
	503	534	520

参考数値
H29職員数 37人 (正職29人・再任用5人・嘱託2人・非常勤1人)

成果指標

指標名	適正処理率	単位	%
指標の説明	人事管理事務において適正に処理した率		
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標(見込)
	100	100	100

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 公平・公正・中立性が確保された適正な事務の執行・管理状況であると考えられる。 今後、市長部局で一元化(委託)できないか検討の余地もあると考える。

平成30年度羽曳野市事務事業評価シート(平成29年度実施事業)

		コード	152-02-02
事務事業名		入札・契約事務事業	事務の種類 自治事務(義務的なもの)
担当部署名		水道局 水道局総務課	連絡先 内線5020
総合基本計画	施策目標	1 快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目 会計 水道事業会計 款 事業費用 項 営業費用 目 総係費
	施策	5 上下水道	
	施策の方向	2 水道事業の経営基盤の強化	
	対象(誰を・何を)	入札・契約事務	
目的(どうしたいか)		公平・公正な入札、適正な契約事務の執行	
手段(事業内容)		工事請負、測量・設計コンサルタントをはじめとする業務委託、物品等の購入に係る入札・契約事務	

事業費

単位：千円	28年度決算	29年度決算	30年度当初予算
事業費	21,163	20,506	20,727
人件費	5,906	6,147	6,273
総事業費	27,069	26,653	27,000
うち市負担分	27,069	26,653	27,000

29年度決算主な内訳
【事業費】 契約工事検査事務負担金19,346千円、電子入札システム負担金1,134千円
【特定財源】

活動指標

指標名	水道局で行った入札件数	単位	件
指標の説明	水道局で行った入札件数(見積徴収含む)		
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標(見込)
	129	95	95

参考数値
H29 電子入札件数 63件
契約件数で単価契約の場合は1件でカウント

成果指標

指標名	契約件数	単位	件
指標の説明	1年間で行った契約件数		
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標(見込)
	161	158	158

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 公平・公正性が確保された事務の執行状況であると考えられるが、市長部局で一元化(委託)できないか検討の余地もあると考える。

平成30年度羽曳野市事務事業評価シート(平成29年度実施事業)

		コード	152-02-03
事務事業名		出納・会計事務事業	
担当部署名		水道局 水道局総務課	
事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
連絡先		内線5012	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち
	施策	5	上下水道
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化
	予算科目	会計	水道事業会計
		款	事業費用
		項	営業費用
		目	総係費
対象(誰を・何を)		水道事業会計	
目的(どうしたいか)		水道事業に係る全ての収入・支出を適切に処理し、実態に則した会計帳簿を作成することを目的とする。	
手段(事業内容)		水道事業として行う全ての経済活動に対応する伝票を正しく作成・起票する。また、年度末に地方公営企業法・羽曳野市水道事業会計規程に準拠して実態に即した財務諸表を作成する。	

事業費

単位：千円	28年度決算	29年度決算	30年度当初予算
事業費	1,823	1,823	1,900
人件費	19,562	18,145	18,517
総事業費	21,385	19,968	20,417
うち市負担分	21,385	19,968	20,417

29年度決算主な内訳
【事業費】 会計システムリース料 1,239千円 会計システム保守委託料 584千円

活動指標

指標名	出納件数	単位	件
指標の説明	入金件数と出金件数の合計件数		
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標(見込)
	4,179	4,211	4,000

参考数値

成果指標

指標名	適正処理率	単位	%
指標の説明	出納事務において適正に処理した率		
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標(見込)
	100	100	100

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 出納事務は、間違ふことが許されなところである。 今後も引き続き処理誤りの無いように注意し、経営判断を適切に行うためにも実態に則した財務諸表を作成する。

平成30年度羽曳野市事務事業評価シート(平成29年度実施事業)

				コード	152-02-04	
事務事業名		広報事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		水道局 水道局総務課		連絡先	内線5020	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	水道事業会計
	施策	5	上下水道		款	事業費用
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		項	営業費用
対象(誰を・何を)	市民・市内事業所・上水道利用者				目	総係費
目的(どうしたいか)		水需要が伸び悩む中、常に安全・安心・低廉な水を供給していること等をPRすることにより、水道事業への理解を深めていただき、より多くの水道水を利用していただく。				
手段(事業内容)		広報紙やホームページへの記事の掲載。本市浄水場で浄水した水を使用したボトルドウォーターのイベント等での配布、浄水場見学会の開催等。				

事業費

単位：千円	28年度決算	29年度決算	30年度当初予算
事業費	1,857	3,086	2,495
人件費	1,107	741	907
総事業費	2,964	3,827	3,402
うち市負担分	2,964	3,827	3,402

29年度決算主な内訳
【事業費】 広告料2,330千円(ボトルドウォーター生産委託料・見学会パンフレット印刷製本・のぼり等)、ウェブサイト改定委託業務681千円
【特定財源】

活動指標

指標名	市民等への周知回数	単位	回
指標の説明	市広報紙掲載回数+水道局ホームページ更新回数+見学会等イベント開催回数+ボトルドウォーター配布回数		
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標(見込)
	123	132	132

参考数値
H29 ボトルドウォーター生産本数 16,800本(500ml) 見学会回数・参加人数 12回・909人

成果指標

指標名	広報内容種別数	単位	種
指標の説明	市民等へ周知した広報内容種別数		
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標(見込)
	32	40	40

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 広報紙の記事掲載やウェブサイトの改定等一定の成果は見受けられるものの、今後は将来的な水道料金の改定も見据え、利用者アンケートの実施や、水道事業の経営状況等を積極的に広報紙やホームページへ掲載するなどの改善が必要と考える。

平成30年度羽曳野市事務事業評価シート(平成29年度実施事業)

		コード	152-03-01			
事務事業名		整備計画管理事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		水道局 水道局総務課		連絡先	内線5012	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	水道事業会計
	施策	5	上下水道		款	事業費用
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		項	営業費用
対象(誰を・何を)	水道施設・管路の整備事業					
目的(どうしたいか)	水道施設・管路の健全性を維持しつつ着実に耐震化事業等を進めることを目的とする。					
手段(事業内容)	水道施設・管路と水道事業を取り巻く外部環境の現状と将来見通しをもって整備計画を策定(改定)し、計画実現に向け局内で事業費の算出作業等を行う。					

事業費

単位: 千円	28年度決算	29年度決算	30年度当初予算
事業費	13,880	0	0
人件費	4,798	2,222	0
総事業費	18,678	2,222	0
うち市負担分	18,678	2,222	0

29年度決算主な内訳
【事業費】 人件費のみ

活動指標

指標名	事務日数	単位	日
指標の説明	整備計画の管理に携わった日数		
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標(見込)
	14	5	0

参考数値

成果指標

指標名	管理事務達成率	単位	%
指標の説明	整備計画管理事務の達成率		
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標(見込)
	100	100	0

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 安心・安全な水が安定して供給される水道事業を今後も持続していくためには、施設・管路の健全性を維持することが不可欠です。 そのため水道局では、平成28年度に整備基本計画を改定し、今年度は計画の実現に向け局内調整を図りました。 その結果、平成30年度から第6次水道施設整備事業を開始することとなり、本事業の目的は達成したため完了とします。

平成30年度羽曳野市事務事業評価シート(平成29年度実施事業)

		コード	152-03-02
事務事業名		財政計画管理事務事業	
担当部署名		水道局 水道局総務課	
		事務の種類	自治事務(義務的なもの)
		連絡先	内線5012
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち
	施策	5	上下水道
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化
	予算科目	会計	水道事業会計
		款	事業費用
		項	営業費用
		目	総係費
対象(誰を・何を)		水道事業経営	
目的(どうしたいか)		健全かつ安定的な事業経営を持続的にを行うことを目的とする。	
手段(事業内容)		整備事業費や起債額など収入・支出を詳細に検討し、財政計画を策定(改定)する。	

事業費

単位: 千円	28年度決算	29年度決算	30年度当初予算
事業費	4,372	0	0
人件費	4,429	6,665	6,802
総事業費	8,801	6,665	6,802
うち市負担分	8,801	6,665	6,802

29年度決算主な内訳
【事業費】 人件費のみ

活動指標

指標名	事務日数	単位	日
指標の説明	財政計画の管理に携わった日数		
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標(見込)
	6	3	3

参考数値

成果指標

指標名	管理事務達成率	単位	%
指標の説明	毎年度の管理事務の達成率		
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標(見込)
	100	100	100

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 安心・安全な水が安定して供給される水道事業を今後も持続していくためには、経営を安定させることが不可欠です。そのため平成28年度に財政計画を策定しました。今後も財務諸表等を参考にしながら、実情に即した経営判断を行い、安定した経営を行っていきます。